

ていね夏あかり
ていね夏あかり

【景観上の特徴】

ていね夏あかりは、手稲区において平成4年（1992年）から毎年夏に開催されている、一晩だけちょうちんを灯すイベントであり、会場一帯を彩るちょうちんが夏ならではの景観をつくり出しています。

このイベントで用いられるちょうちんの多くは、手稲区の小学生が、大学生などに教わりながら手づくりしたものであり、思い思いに制作したちょうちんが夏の夜空に浮かぶ姿は、子ども達にとって特別な思い出となっています。

ちょうちん制作の他にも、イベントの企画から開催に至るまでの道のりにおいて、小学校や児童会館、子ども会等の様々な地域団体が参加しており、世代を超えた地域交流が生まれるとともに、関わった全ての人の思いと努力が支えとなり、ていね夏あかりが地域に根ざしたイベントとして成長してきたものと言えます。

地域の方々が試行錯誤を重ねながらその地域ならではの景観をつくり出し、その歴史の中で地域への愛着を育んできた姿は、「四季の変化」や「地域への愛着」といった札幌の景観特性を生かした良好な景観の形成につながっており、「多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり」をあらわしています。



登録年月日	令和2年（2020年）2月27日
所在地・活動場所	札幌市手稲区内
連絡・問い合わせ先	連絡先名：ていね夏あかり実行委員会事務局（手稲区市民部地域振興課内） TEL：011-681-2445
URL・資料	
備考	